

例1（相続問題）

○相談の分野をお選びください。

土地、建物（ ） 借地借家（ ） 交通事故（ ） 契約問題（ ） 金銭問題（ ）

家庭問題（ ） 相続問題（○） 労働問題（ ） 行政問題（ ）

その他（ ） ↑該当する分野に○をお願いします

※刑事事件、調停中、訴訟係属中の事件についてはご相談に応じかねます。

○問題となっている事情（できるだけ時間的経過に従ってお書きください）

平成29年10月5日、私の父が亡くなりました。父は、平成26年1月1日付の遺言、平成28年10月2日付の遺言を残していました。平成28年10月2日付の遺言には、平成26年1月1日付の遺言の内容を変更するように書いてありました。

↑日付等できる限り正確をお願いします・遺言があるときはその旨をお書きください

さらに父に隠し子がいることが判明しました。この隠し子が私たち兄弟に対して父の預金から600万円を請求してきました。私たち兄弟は隠し子に対して、預金を渡したくないと考えています。

母は既に亡くなっており、兄弟は私を含め三人です。隠し子の母親は存命のようです。

父の両親は既に亡くなっており、兄弟はいません。

↑相続問題のときは、家族構成をお書きください

○ご相談事項（できるだけ具体的にお書きください）

遺言通りに相続する必要はありますか。

また、隠し子に預金を渡す必要はありますか。

↑問題となっている事情に基づいて、ご相談されたい内容をお書きください

○来所可能な日付（以下の日付からお選びください）

4/14、4/21、4/28、5/12、5/19、5/26、6/2、6/9、6/16、6/23、7/7、7/14

※メール送付日を含む週の土曜日には回答しかねます。ご了承ください。

来所可能日：5/12、5/19、6/2

↑上記日付の中から、午後一時から二時までの間に来所可能な日をお書きください

○訴訟意思の有無

有（○） 無（ ） その他（あまりお金がかからないならばしたいと考えています）

↑どちらかに○をお願いします

訴訟費用による等の場合はその他にその旨をお書きください

○教授・弁護士の補足説明を希望するか

希望する（○） 希望しない（ ）

↑当日学生のほか教授・弁護士の補足説明を無料で聴くことができます